

### 【協力隊ケニア OBOG 会とは】

青年海外協力隊は 2015 年に 50 周年を迎えました。ケニアへのボランティア派遣は 1965 年（昭和 40 年）に海外技術協力事業団の委託により協力隊事業が開始された年に、アフリカとしては唯一の国として 3 人の隊員が派遣されました。それから半世紀、多くの隊員がケニアの地で活動し、それは今も継続しています。

その派遣実績は、2018 年 12 月 31 日現在で 1693 人。そのうちシニア海外ボランティア 48 人となっています。

それはつまり、1700 人近いケニアからの帰国隊員が、日本であるいは国際社会の中で活躍している事になります。

ところが不思議なことに、いくつかの国別の OB 会が立ち上がる中、今までケニアとしての OB、OG 組織は設立されませんでした。そこで青年海外協力隊の設立から 50 年の記念すべき年に、ケニアに派遣された協力隊員による協力隊ケニア OB・OG 会を設立いたしました。

OB・OG 会は隊員経験者を始め、現在派遣中の隊員、そして近い将来に派遣される予定の方々を含めて交流の深化、発展を図り、ケニアとの友好促進や帰国後の活動支援などを目的としています。

### 【協力隊ケニア OBOG 会の目的】

1. OB・OG 間の連携と交流を深め発展させる場を提供する
2. ケニアと日本の友好を深めるための活動を推進する
3. ケニアでの経験を日本および世界に還元する活動を支援する

### 【これまでの活動】

当会では、毎年の会員総会を始めとし、協力隊経験者による「協力隊まつり」や外務省などの主催による国際協力をテーマとした「グローバルフェスタ」などのイベントに参加しています。

ここでは経験者が実際にケニアで行ってきたプロジェクトや現地の学校、コミュニティなどとの交流について、写真やレポートを展示しながら両国の協力関係を具体的に分かりやすく説明しています。



グローバル  
フェスタに  
参加

また、ケニアでも IT 化・AI 化に向けて産業技術への期待と興味が高まっており、ABU（アジア太平洋放送連盟）が主催するロボコンに、ケニアはオブザーバーとして 2008 年から毎年参加しています。2017 年に行われた東京大会では、協力隊ケニア OB・OG 会有志により、ケニアからの参加団への協力活動も行われました。



ロボコン視察のためケニアから訪れたメンバー

今後は日本の国内で働く、あるいは日本国内で学習あるいは研修を受けるケニアからの方々に対して日本での生活をアドバイスしたり、相互理解のためのセミナーを企画・開催し両国の民間レベルでの交流を促進し理解を深める事も目指していく考えです。



# 協力隊ケニアOB・OG会



## ケニアでの協力隊活動の歴史

1966年3月派遣開始



60年代から70年代にかけては自動車整備や建築関係、農業指導、服飾指導の隊員が多く派遣されました。



80年代から90年代は理数科教師の需要が高まり、この10年間の同職種の隊員数は累計で342人に上ります。



近年ではスポーツや環境教育、マーケティング、コミュニティ開発など新たな需要が生まれています。この先の国際交流にあなたも挑戦してみたいか、がでしょうか。(写真提供：JICAケニア事務所)



<http://kenya-jocv.com/>

発行 協力隊ケニアOB・OG会  
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10 -5  
JICA地球ひろば内 発行者 倉科芳朗  
会費とご寄付の振り込み先は  
協力隊ケニアOB・OG会  
ゆうちょ銀行 店名：八二八支店  
店番：828普通 3827620